

4-4-1 第1回「自然史王国信州を歩く～火山編～」

【開催日時】 2006年9月24日 8:00～16:00

【場所】 小諸市 浅間山荘～火山館～湯の平(往復)

【主催】 長野県環境保全研究所

【共催】 信州大学理学部(案内協力:三宅康幸氏)

【協力】 小諸市市民生活部

【企画と案内】 長野県環境保全研究所 富樫 均・大塚孝一

【募集対象】 一般(中学生以上)20名

【参加者】 28名(内案内者3名)

【テーマ】 火山とつきあう(サブテーマ:エコツーリズムを考える)

【目的・ねらい】

浅間山は日本の代表的な活火山です。活火山は生きている地球を実感させてくれる魅力的な大自然ですが、同時に噴火による災害をもたらすこともあります。このツアーでは、火山に対する基本的な知識を得ることと、いざというときの備えを前提に、火山地域の自然の魅力と火山との賢明な付き合い方を考えます。

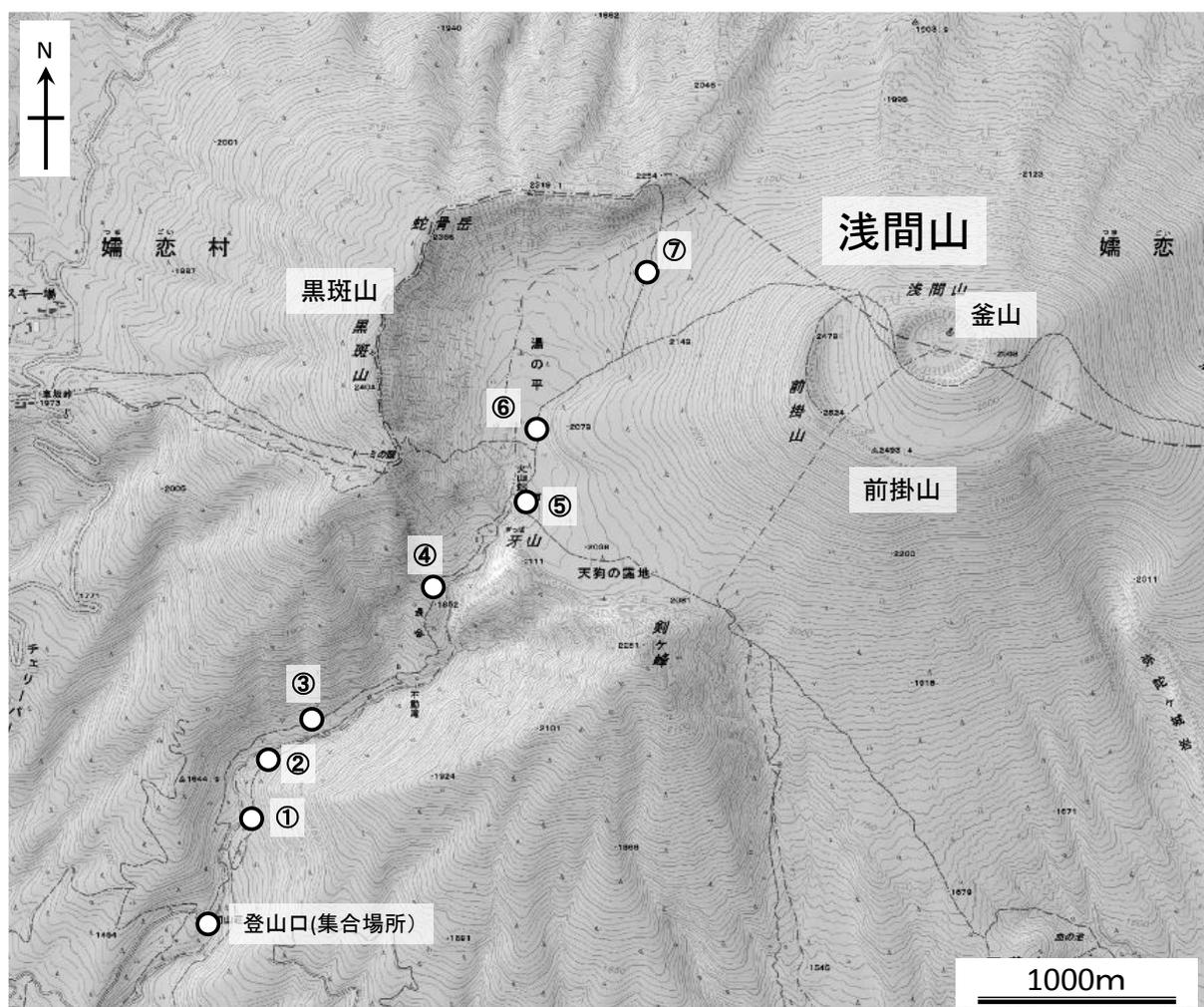


図4-4-2 第1回「自然史王国信州を歩く」のルートと観察ポイント
(国土地理院データをカシミール3Dを用いて表示)

★観察ルートと観察ポイント(数字は図4-4-2の中の数字の場所に対応)★

- ① 里山利用の歴史1(炭焼き窯の跡)
- ② 溶岩流の観察(一の鳥居)
- ③ 里山利用の歴史2(ミズナラ林とかつての利用)
- ④ 天然カラマツの美林
- ⑤ 火山館(館長の中澤氏より、周辺の自然や噴火の際の注意等についてお話を聞く)
- ⑥ 噴石によって形成されたクレーター(火山の力と噴火時の様子を実感)
- ⑦ 湯の平(多様な植物と植生、火山荒原、変化に富む地形、パン皮状火山弾の観察、火山活動レベルと立ち入り規制にたいする意見交換など、記念の集合写真撮影)

【参加者の主な感想】

- ・地形、地質、浅間山の成り立ちを知ることができて感激した(60代女性、主婦)
- ・安心して行動できた、案内と資料がよかった(他市、60代男性)
- ・地質等にはあまり興味がなかったが、現物を見て、聞いて、自分でも参考書や資料などを調べてみようと思った(地元男性)
- ・もう少し掘り下げた専門的な話をしてほしい(他市60代男性、会社員)
- ・今回のような地学を中心にした講座をまた開催してほしい(他市30代女性)
- ・絶景と火山の大崩壊のドラマに感動した(他市60代男性)
- ・勉強になりました。浅間山がより身近に感じられるようになりました(他市50代女性)
- ・盛りだくさんではなかったので理解しやすかった(他市70代男性)
- ・植物中心の観察会が多いが、違った角度からの話はとても新鮮(他市50代女性)

【企画者の反省】

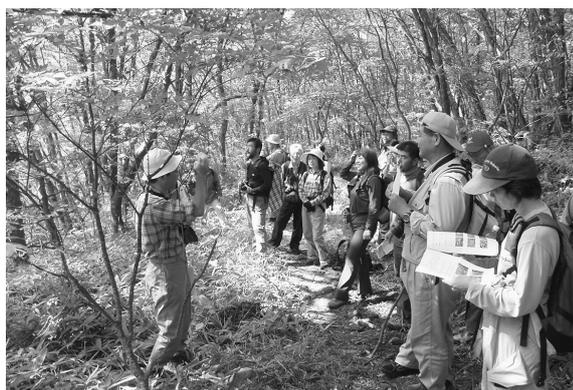
- ・たまたま講座開催の2日前に火山活動レベルが2から1に引き下げられ、立ち入り規制範囲が緩和された。湯の平の奥にまで行けたこと、その現場で火山の立ち入り規制のあり方について意見交換し、理解が深められたのはよかった。
- ・信州大学の三宅氏や小諸市が管理する火山館の中澤氏から、学術的な詳しい説明と日頃の経験を踏まえた様々な話題を提供していただき、内容が豊かになった。
- ・エコツアーを意識した講座としては初めての企画であったため、案内ではサブテーマを「これからのエコツーリズムを考える」とした。しかし、テーマは見どころをわかりやすく伝える必要があり、明確に「火山とつきあう」という表現に絞ったほうがよかったと反省した。
- ・講座として手ごたえがあり、参加者にも好評であったので、以後シリーズ化して企画していくこととした。



出発前の説明の様子



溶岩流の観察(一の鳥居)



里山の林の特徴を観察



火山麓の天然カラマツを観察



湯の平手前の温泉変質帯を行く



火山館の館長からの自然の説明



パン皮状火山弾の不思議



湯の平でゆっくりと意見交換会

図4-4-3 第1回「自然史王国信州を歩く～火山編～」当日の様子